

《 生活の中のふとから見直す使用頻度に合わせて収納 》

年末年始、ものの見直しをした方も多いでしょうか？

年末年始に限らず、毎日の生活の中で、

これ使っていないなあ～

ここってほとんど見ないなあ～

最近よく使うなあ～

そんな、ふと使いにくさや収納場所の違和感を感じたことはありませんか？

そんな“ふと”がわいた時は

見直しのチャンス！

普段の生活で感じる何気ない感覚には

おうちを心地よくするヒントが隠されています。

今回はふと疑問に思ったキッチンのワンスペースを見直してみました。

【 ステップ1 ふと気になる 】



ふとキッチンの吊戸棚収納を見た時、
あれ？一番上って何が入っているのかな？…と疑問を感じる。

そんな気づきがあった時には見直しのチャンス！

中身がわからない収納は、せっかくの収納スペースを無駄にしていることも。

【 ステップ2 中身を全部出し確認 】



これは、パッと見ても何が入っているかわかからない…
(;´▽`)

まずは、中身を全部出し、入っているものを確認します。

【 ステップ3 “今” 使っているものを選ぶ 】

中身を確認したら、その中で“今”使っているものを選びます。

ついつい、“いつか”使うかも…と思いついておきたくりますが、“いつか”はなかなか来ないもの。

“今”使っているものを選ぶことで、生きた収納を作ることができます。

【 ステップ4 選んだものに合わせて収納ケースを選ぶ 】



選んだものを種類で2つのグループに分け

さらに“量”と“使用頻度”に合わせてケースを選びます。

- ・ものの量が少ない
- ・使う時は年に数回と使用頻度が低い

そのことから、今回はこちらのケースを使用。



＼ワンポイント！／

こちらのケース、見た目が可愛いので

ついついケースから先に選んでしまいそうですが…

ちょっと待って！

こちらのケース、

マジックテープ式で開け閉めにちょっと手間がかかります。

そのため、使用頻度が高いものを収納すると、

毎回の開け閉めが面倒になり、ものが出したままになる…

なんてことも。

使用頻度と収納ケースの仕組みが合っているかも大切です。

【 ステップ5 ラベルをつける 】



中身が見えない収納ケースには、中に何が入っているのかわかるようラベルを付けることもポイントです。

今回は、主に私しか使わないこともあり荷札を使ったラベルにしてみました。

自分以外の人と共有して使う場合には、誰が見てもわかるようなラベル作りが必要です。

【 ステップ6 使用頻度に合わせて収納場所を 】



今回収納した“お菓子作りの道具”と“ラッピング”は年に数回の使用頻度が低いもの。

そのため、収納場所は吊戸棚の一番上に。

収納場所の位置は、使用頻度に合わせてより出し入れしやすい仕組み作りをすることができます。

【 生活の中の“ふと”から見直しを♪ 】



お片付けのきっかけ作りは、年末年始に限らず、日常生活の中の何気ない気づきの中にも隠れています♪

そして、
どのくらい使うかな？いつ使うかな？

そんな使用頻度にも注目して、収納ケースや収納場所を探すことも、使いやすい仕組み作りの一つです。

生活の中のヒントから、おうちをさらに心地よい空間へ変えていきましょう♪